

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	980.30	2022/4/11
High	998.75	2022/4/11
Low	963.87	2022/4/12
Close	992.30	2022/4/15

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3916.00	2022/4/11
High	4051.00	2022/4/15
Low	3889.00	2022/4/12
Close	4034.00	2022/4/15

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2434.00	2022/4/11
High	2541.00	2022/4/11
Low	2314.00	2022/4/14
Close	2372.00	2022/4/15

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9741.00	2022/4/11
High	10240.00	2022/4/11
Low	9345.00	2022/4/14
Close	9637.00	2022/4/15



ニュースエクスプレス

英国がロシア産金属輸入を停止した影響を受け、PGM マーケットはタイトに

南アTharisa社 のCEO、Phoevos Pouroulisはロシアの二つの精錬所が、イギリスの金融市場への供給を停止されたことを受けて、PGM 市場はタイトになるだろうと語った。

4月8日、ロンドンプラチナ・パラジウム市場 (LPPM) はロシアの国営プラチナ精錬所二カ所をグッドデリバリーリストから除外した。既にCME グループのNYMEX でも、ロシアで精錬されたPGMブランド鉍石に関して同様の取引停止処置がとられている。日本取引所グループでもロシアのグッドデリバリーの認定取り消しを検討している。

この二つのロシアの精錬所、Krastsvetmet と Prioksky はノリリスク・ニッケルの鉍石を精錬している。ノリリスクはほとんどのメタルを海外顧客に直接供給しているが、この流れも同じように禁止されるかどうか、アナリストは注視している。モルガン・スタンレーは、「LPPM とNYMEXの動きによっては、マーケットの先行きに対する不安が高まるだろう。」としている。

Pouroulis 氏によると、まだロシアと取引を続けている国はPGMを輸入しているが、今回の制裁措置によって「マーケットはタイトになっていく」としている。

「主要生産国である南アフリカで少しでも運営問題が起きれば、タイトな需給バランスが助長され価格が上がるなどするだろう。経済活動が大幅に縮小しない限り、向こう24 か月間とそれ以降の長期間、価格の価格と展望は安定している。」とPouroulis 氏。

英ベレンベルク銀行は、「パラジウム市場のタイト感がしばらく続く要因ははっきりしており、プラチナ市場にもそれが幾分当てはまる。」としている。

今日のUBS のレポートによると、パラジウムの消費は中国が平均して30% 弱(96.4トン)、北米と欧州がそれぞれ20%、日本が約11%となっている。しかし取引の流れは、ロシアの輸出の60% は最初に欧州と米国に流れ、中国へは6%のみ。

UBS によると、ロシアの精錬所に対する制裁は、短期的にPGM価格を押し上げるとしており、パラジウム先物は既にバックワーデーションになっている。

「これは、供給問題で市場がタイトになることで、価格上昇リスクはより直近に集中しているという我々の見方を裏付けている。」

ロシアが世界の40% 以上を占めているパラジウムは、供給が止まる懸念から、3月以来の価格がオンス当たりで約20% 上がっている。

Tharisa 氏によると第2四半期、6E (プラチナ、パラジウム、ゴールド、ロジウム、ルテニウム、イリジウム) のPGM 価格は平均17% 上昇して2806ドルで、生産量の低下を補うだろうとしている。さらにクロム価格も約10% 上がっている。

<https://www.miningmx.com/news/platinum/49307-pgm-market-to-tighten-as-industry-absorbs-impact-of-bans-on-refined-russian-metal-to-uk/>

大阪取引所、ロシア製白金とパラジウムの指定取り消し検討を発表

大阪取引所は11日、ロシア製の白金とパラジウムのブランドについて、受渡供用品としての指定の取り扱いを取り消しを含めた対応を検討していると発表した。欧州の貴金属業界団体のロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケット (LPPM) がロシア製の白金とパラジウムのブランドを認定リストから除外する措置を講じたため。

大阪取引所によると、パラジウム先物取引ではこれまで多くのロシア製ブランドが受渡供用品とされてきたとして、指定を取り消した場合は売り建玉の急減や建玉保持に伴うリスクが高まることなどが予想されるという。

[https://www.nikkei.com/article/DGXZASFL11H4M\\_R10C22A4000000/?unlock=1](https://www.nikkei.com/article/DGXZASFL11H4M_R10C22A4000000/?unlock=1)

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- 水素関連の優遇策などによって燃料電池自動車(FCEV)のプラチナ需要は、2039 年までに自動車の今のプラチナ需要に匹敵する量となる可能性がある。しかも燃料電池自動車により広範に普及すれば、それより早く今から 11 年後の 2033 年には、93.3 トンが自動車需要に加算される可能性もある。詳しくは「2022年3月号 プラチナ投資のエッセンス 燃料電池自動車による長期的なプラチナ需要拡大の見通し」をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/investment-research>



(@wpicjapan)